

展示公開施設の館内環境調査報告—平成7年度—

佐野 千絵・三浦 定俊

保存科学部は博物館・美術館・資料館などの文化財公開施設で、借用など移動を伴う国指定文化財等の展示があるときに、当該施設の館内環境調査を文化庁美術工芸課と協力して行っている。その調査の内容については以前に述べたが¹⁾、平成5年度からは各館ごとに館の規模や施工時期などについて、あらかじめ定まったフォーマットに従って整理をしている。平成5年度・6年度についてはすでに報告したので²⁾、ここでは平成7年度に行った館内環境調査に関して概括する。

集計方法などについては、前報と同じである²⁾。相談件数および相談館数の経時変化、相談館の地域分布、開館時期、借用計画をたてた時期、空気環境調査期間、空気環境調査終了時期と延べ床面積の関係について図示する(図1~6)。また、平成7年度に報告書を書いた29館の基礎データを表1に記す。

表1 調査館の基礎データ

| No. | 着工 | コンクリート 打設時期 | 竣工 | 開館 | 借用時期 | 空気環境調査 | 延べ床面積/m ² | 展示面積/m ² | 収蔵面積/m ² | 博/美系 | 運営母体 |
|-----|---------|----------------|-------|-------|---------|------------|----------------------|---------------------|---------------------|------|------|
| 1 | 1966.1 | 不明 | 66.3 | 66.7 | 95.9 | 95.4-6 | 710 | 433 | 111 | 博 | 市 |
| 2 | 1967 | 不明 | 67 | 89.4 | 95.10 | 95.7-8 | 549 | 155 | 110 | 博 | 町 |
| 3 | 1978.9 | 不明 | 79.7 | 79.7 | 96.4 | 96.1-2 | 929 | 421 | 95 | 博 | 市 |
| 4 | 1981.12 | 82.8 | 82.12 | 83.6 | 96.2 | 95.9-11 | 1,713 | 984 | 80 | 美 | 市 |
| 5 | 1985.12 | 不明 | 88.3 | 89.3 | 95.10 | 95.7-10 | 26,829 | 2,918 | 1,243 | 美 | 市 |
| 6 | 1986.12 | 87.6 | 87.11 | 88.4 | 95.10 | 94.12-95.7 | 1,349 | 474 | 184 | 美 | 県 |
| 7 | 1986.9 | 86.9 | 87.5 | 88.4 | 95.10 | 95.8-9 | 1,311 | 308 | 268 | 博 | 市 |
| 8 | 1986.9 | 88.9 | 89.6 | 89.9 | 96.4 | 96.1-2 | 33,023 | 827 | 不明 | 美 | その他 |
| 9 | 1988.10 | 不明 | 90.3 | 91.5 | 95.10 | 90.8-95.6 | 4,472 | 894 | 269 | 博 | 県 |
| 10 | 1988.6 | 89.1 | 89.8 | 89.11 | 96.4 | 94.12-96.1 | 913 | 270 | 92 | 美 | 市 |
| 11 | 1988.7 | 89.2 | 89.8 | 89.10 | 96.10 | 95.10-96.3 | 不明 | 282 | 94 | 博 | 市 |
| 12 | 1925 | 26 | 26 | 93.7 | 96.3 | 95.6-96.1 | 1,451 | 458 | 181 | 博 | 市 |
| 13 | 1989.12 | 90.12 | 91.2 | 91.9 | 95.7 | 95.3-6 | 7,043 | 674 | 3156 | 博 | 市 |
| 14 | 1990.11 | 不明 | 91.8 | 91.11 | 96.5 | 92.3-96.1 | 851 | 320 | 44 | 美 | 町 |
| 15 | 1991.12 | 93.6 | 94.2 | 95.1 | 95.3 | 93.10-95.7 | 9,269 | 2,040 | 1,488 | 博 | 市 |
| 16 | 1991.11 | 94.12 | 93.9 | 94.3 | 95.11 | 95.11-96.5 | 4,557 | 79 | 89 | 博 | 県 |
| 17 | 1991.12 | 不明 | 93.10 | 94.3 | 95.4 収蔵 | 93.6-95.6 | 5,925 | 1,663 | 690 | 博 | 県 |
| 18 | 1991.8 | 94.6 | 92.10 | 93.4 | 95.10 | 95.9-10 | 1,177 | 384 | 106 | 博 | 町 |
| 19 | 1991.9 | 94.5 | 94.12 | 95.11 | 96.4 | 95.2-96.2 | 17,499 | 1,738 | 1,188 | 美 | 市 |
| 20 | 1992.12 | 93.12 | 94.10 | 94.12 | 95.10 | 95.9-10 | 8,984 | 778 | 600 | 美 | 県 |
| 21 | 1992.9 | 93.11 | 94.3 | 95 | 95.10 | 94.7-95.6 | 4,669 | 465 | 208 | 美 | 市 |

| No. | 着工 | コンクリート打設時期 | 竣工 | 開館 | 借用時期 | 空気環境調査 | 延べ床面積/㎡ | 展示面積/㎡ | 収蔵面積/㎡ | 博/美系 | 運営母体 |
|-----|--------|------------|-------|-------|----------|-------------|---------|--------|--------|------|------|
| 22 | 1993.1 | 93.9 | 94.3 | 94.10 | 95.10 | 95.5-8 | 1,731 | 516 | 167 | 博 | 市 |
| 23 | 1993.3 | 94.9 | 95.6 | 95.11 | 95.11 | 95.6-9 | 1,086 | 383 | 164 | 博 | 市 |
| 24 | 1993.6 | 93.12 | 94.5 | 94.11 | 95.10 | 95.2-10 | 1,875 | 不明 | 不明 | 博 | 市 |
| 25 | 1993.7 | 94.3 | 94.10 | 94.11 | 95.10 | 95.6-8 | 4,100 | 770 | 364 | 美 | 市 |
| 26 | 1993.9 | 94.5 | 94.10 | 94.10 | 94.10 | 94.12-95.5 | 907 | 162 | 47 | 美 | その他 |
| 27 | 1994.2 | 94.7 | 95.2 | 96.3 | 96.4 収蔵 | 95.10-96.3 | 55 | 0 | 55 | 博 | その他 |
| 28 | 1994.2 | 94.7 | 94.10 | 95 | 95.3 | 94.11-95.10 | 1,028 | 147 | 301 | 博 | その他 |
| 29 | 1994.4 | 94.8 | 95.5 | 95.11 | 95.11 収蔵 | 95.9-継続中 | 348 | 144 | 10 | 美 | その他 |

1. 相談館全体の傾向

相談件数および相談館数については、図1のとおりである。相談件数に関しては、平成5年度と同様に秋の特別展にあわせての相談が多かった。10月中旬以降12月までは、件数として減る傾向は、平成5年度・6年度と同様であった。博物館等施設からの相談件数総計は、981件であった。

相談館の地域分布については、平成5年度・6年度と同様に、関東・東海/中部・近畿地方に多かった(図2)。

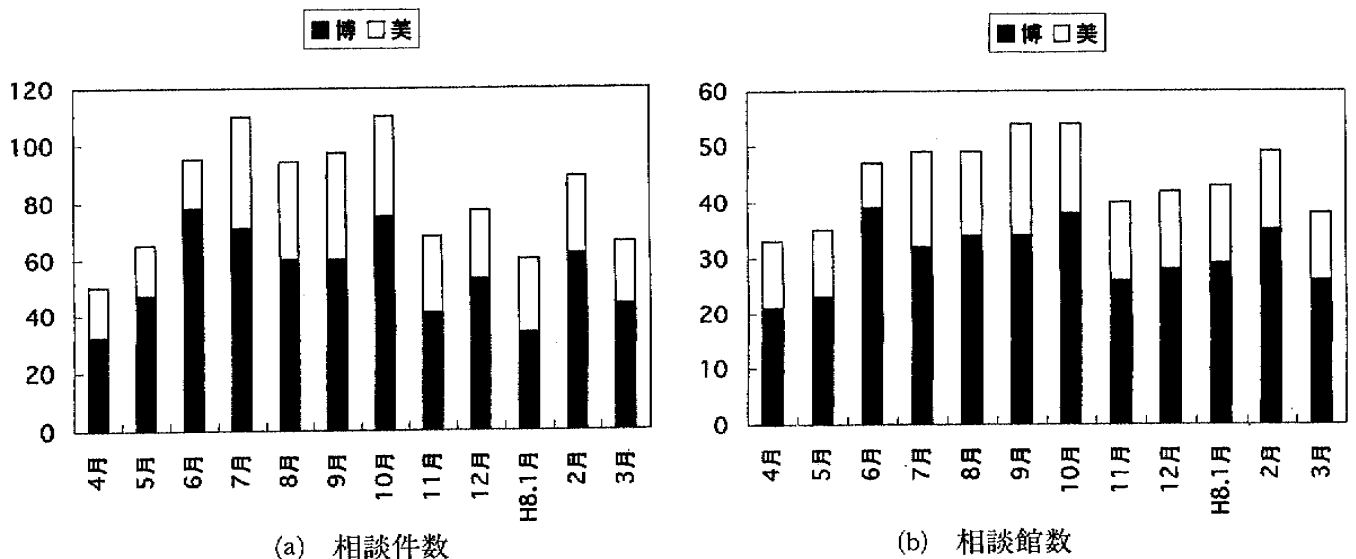


図1 保存環境に関する相談 (平成7年度)

2. 平成7年度館内環境調査報告書提出館29カ所の傾向

借用の時期としては、平成5・6年度と同様に開館時から半年内を目指している館が多く（図3）、竣工から開館までの期間は平均6.2ヶ月であった（図4）。

開館時期については、11月がたいへん多かった（図5）。

空気環境調査期間（図6）については、竣工からの期間の短い館ほど長くかかる傾向はかわらないが、3年以上かかる館は特殊例であろう。平均7.1ヶ月であった。

空気環境がアルカリ性から中性に落ちつくのは、平成5年度データの解析結果と同じく、ばらつきはあるものの全体の傾向として床面積によらず、コンクリート打設時期から約20ヶ月後であった（図7）。

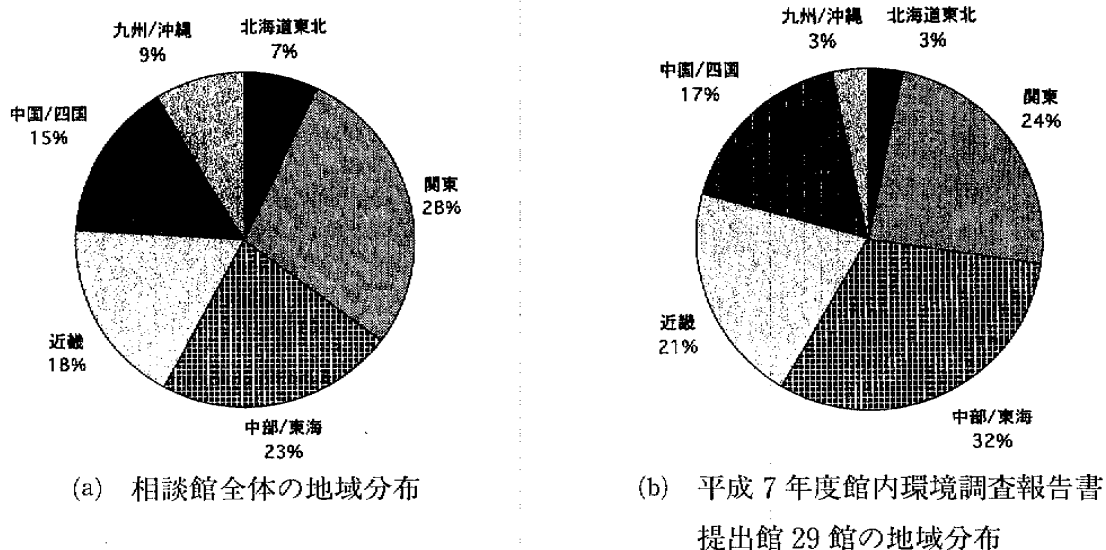


図2 相談館の地域分布（平成7年度）

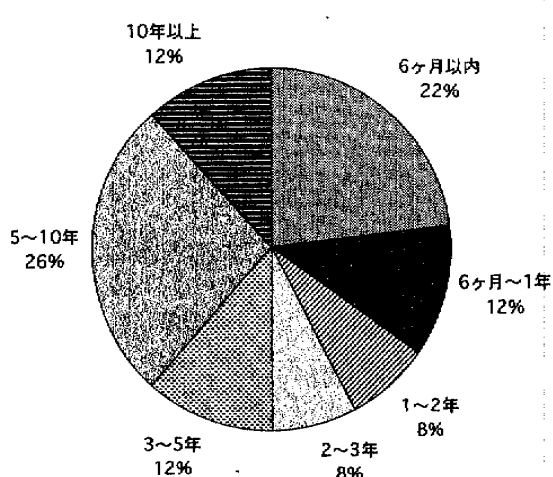


図3 開館から館内環境調査報告書を必要とする資料を借用するまでの期間

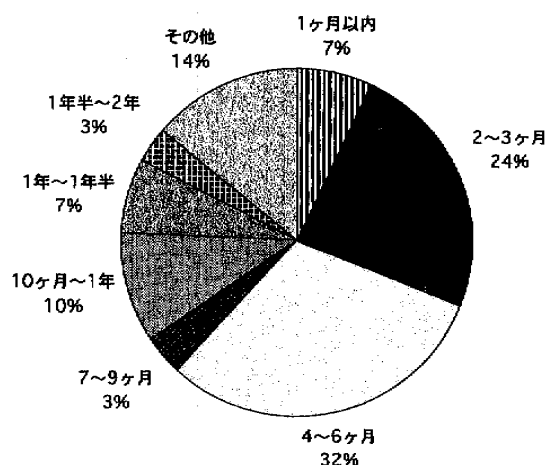


図4 竣工から開館までの期間

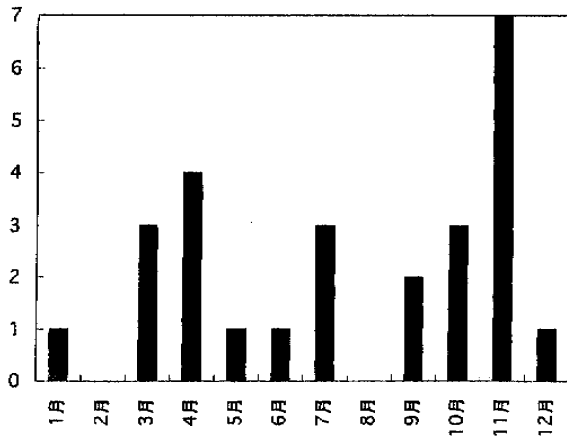


図5 平成7年度館内環境調査報告書提出館29館の開館月

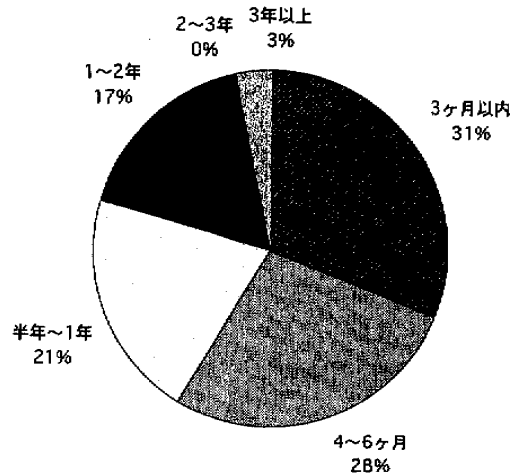


図6 館内空気環境調査期間

3. 考察

平成5年度から平成7年度にかけて、年度毎の傾向を検討してきたが、これまででおおよその傾向はすでに明らかになったと言える。

国指定文化財の借用の時期については、その年度毎に特徴はあるが、その主力はやはり開館からすぐに借用を計画しており、施設設計の段階から相談にくる館が増えたことが集計結果に現れている。

開館時期に関しては、「文化の秋」ということに加え、安定した館内環境を得るために春に竣工して半年ほどの間をおき、秋に開館する施設が多くなっていることがうかがえる。

いずれの点からも、公開施設の保存環境について関心が深まりつつあることが実感される。

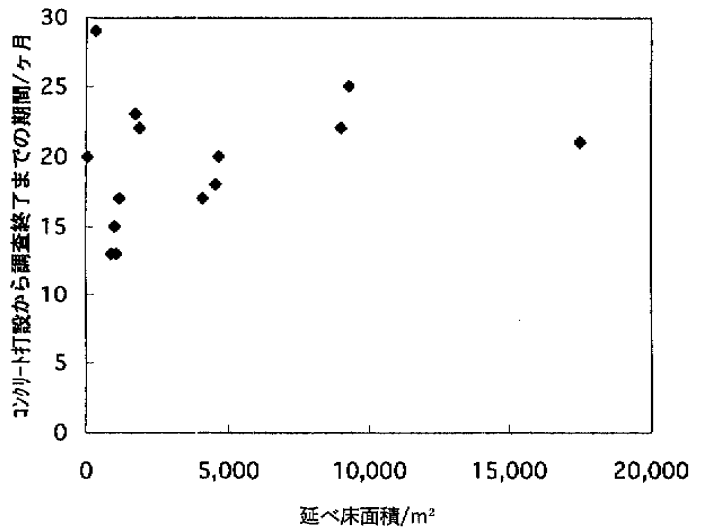


図7 建物の規模とシーズニング期間の関係

4. 終わりに

平成8年8月2日には「重要文化財の所有者及び管理団体以外の者による公開に係わる博物館その他の施設の承認に関する規定を定める件」(文化庁九)についての官報告示があった。すでに公表されている「文化財公開施設の計画に関する指針」(平成7年8月、文化庁文化財保護部)に加えて、今年度中に「重要文化財の所有者及び管理団体以外の者による公開に係わる博物館その他の施設の承認に関する規定について」(平成8年7月12日、文化庁次長通知)「重要文化財の所有者及び管理団体以外の者による公開の許可に係わる基準について」(平成8年7月12日、文化庁次長通知)、「国宝・重要文化財の公開に関する取扱要項の制定について」(平成8年7月12日、文化庁文化財保護部長通知)が制定され、平成8年度は文化財保護法の一部改正がなされた大きな変革の年であった。事後20日以内の届け出で国指定品の公開ができる公開承認施設における保

存担当学芸員の役割が重要になってくると同様に、現場の担当者の判断が今後は重視されることとなるので、我々も研修などを通して、多くの公開施設で資料の保存にあたる現場の方々に今後とも協力していきたいと考えている。

引用文献

- 1) 三浦定俊・佐野千絵・石川陸郎：新設博物館・美術館等における保存環境調査の実際，月刊文化財（平成5年4月号），355号，34-42（1993）
- 2) 佐野千絵・三浦定俊：国指定文化財展示公開施設のシーズニングについて—平成5年度展示公開施設の館内環境調査から—，月刊文化財（平成7年9月号），384号，4-11（1995）
- 3) 佐野千絵・三浦定俊：展示公開施設の館内環境調査報告—平成6年度—，保存科学，35，74-79（1996）

訂正

保存科学第35号（平成7年度発行）pp. 74～76，「展示公開施設の館内環境調査—平成6年度」の図に誤りがありましたので，お詫びして訂正いたします。図4と図5を表題はそのままにしてグラフのみ入れかえて下さい。

Annual Report of the Inspection of Museum Environment in 1995

Chie SANO and Sadatoshi MIURA

The Tokyo National Research Institute of Cultural Properties advises museums how they should design their facilities to have an adequate environment for exhibition of nationally designated cultural objects in collaboration with the Agency for Cultural Affairs (*Bunkacho*). This report shows the results of inspection in 1995.

The number of advices were 981 in 1995. The results of inspection were reported to 29 museums in 1995 for their exhibitions. As we reported before, it took about 20 months after concrete placing for most of the museums to become a clean environment for exhibition.